施工説明書

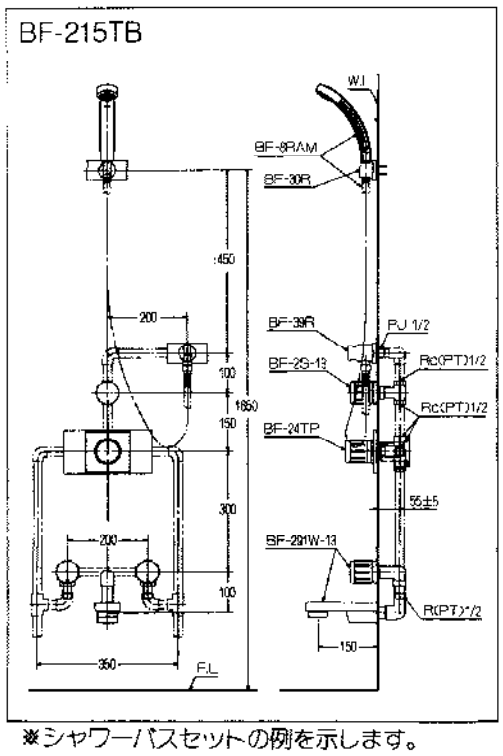
INAX

埋込形サーモスタット混合水栓

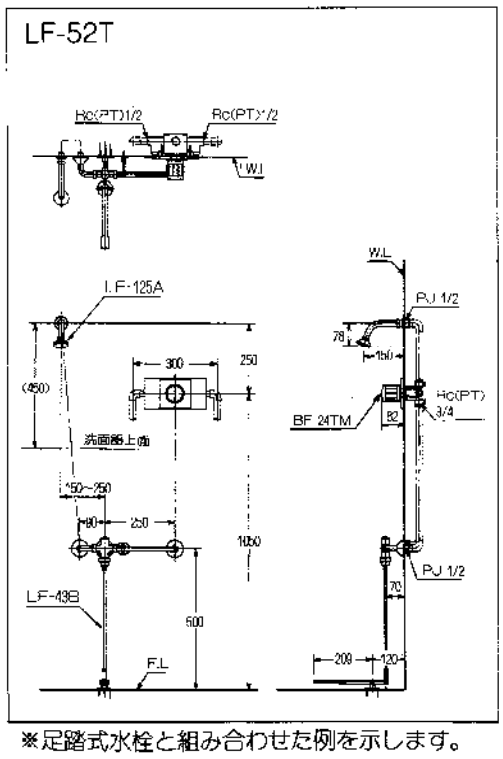
BF-24T　BF-24TM
BF-24TP

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

●施工完了図



※シャワーバスセットの例を示します。



※足踏式水栓と組み合わせた例を示します。

●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

⚠ 注　意

湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

●使用条件

●給水・給湯圧力は以下の条件を守ってください。
〔ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合〕

給水圧力
- 最低必要圧力 ……A+0.11MPa {1.1kgf/㎠}
- 最高圧力 …… 0.59MPa {6kgf/㎠}

Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

- 測定条件
  ※開閉ハンドルは全開です。
  ※ガス給湯器との組合わせ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5℃、吐出温度42℃）によるものです。
  ※給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
  ※ガス給湯器の温度調節は最高設定です。

〔貯湯式温水器と組み合わせる場合〕

給水・給湯圧力
- 最低必要圧力 ……0.05MPa {0.5kgf/㎠}
- 最高圧力 ……0.59MPa {6kgf/㎠}

- 温度調節が容易で使い勝手をよくするために、給水圧力は給湯圧力より高圧か、または同圧となるようにしてください。

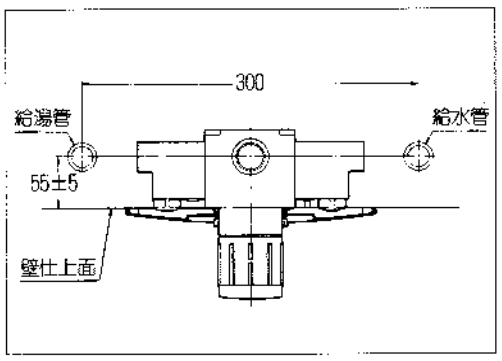
●給水圧力が0.59MPa {6kgf/㎠} を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力（0.20~0.39MPa {2~4kgf/㎠} 程度）に減圧してください。
●給湯温度は使用する最高温度より約10℃高く設定してください。
●給湯に蒸気は使用できません。

●施工前のご注意

●給水は上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
※逆配管では表示通りに湯が出ません。
●給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
●商品の表面には直接工具を掛けないでください。
※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
●開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。
●必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

●施工方法

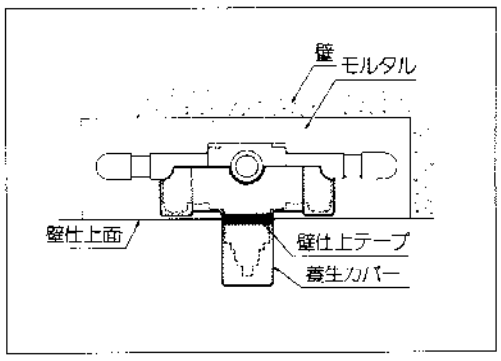
1．取付位置の決定
※施工完了図以外のセットの場合は、仕様図を請求してください。
※特に埋込み深さ（55±5）には十分注意してください。



2．給水・給湯配管
吐水部まで給水・給湯配管します。

3．漏水の有無の確認
通水して接続部より水漏れが無いことを確認します。

4．タイル仕上げ
養生カバーに表示してある仕上範囲内（赤テープの範囲内）に納まるように、埋戻しとタイル仕上げをします。
※仕上範囲内に納めないと取り付けできません。
※養生カバーの内側にモルタル等が入り込まないようにしてください。

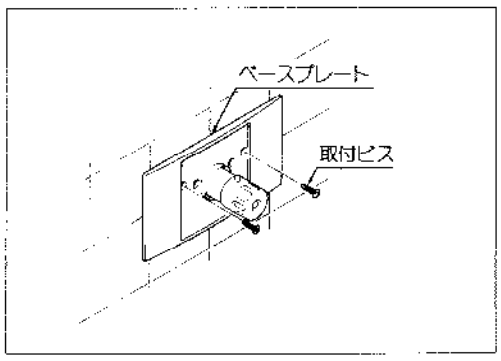


※モルタルによる埋戻しをしない場合は給水・給湯及びシャワー接続、バス接続の各配管をそれぞれホルダー（現場手配）を用いて十分固定してください。

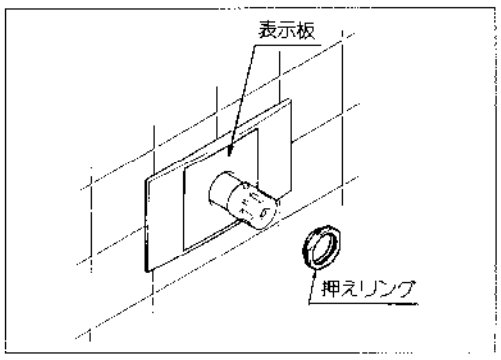
5．養生カバーの取外し
取付ねじ（2本）を外し、養生カバーをゆすりながら外します。

6．流量調節
水栓の機能を十分発揮させるため、水圧が0.20MPa {2kgf/㎠} を超える場合は、水側の止水栓を次の要領で調節します。
⑴温度調節ハンドルを「COOL」側一杯に回し、吐水口側（またはシャワー側）で全開にします。
⑵流量が20L／分程度（洗面器一杯にするのに約10秒弱）になるように、止水栓で調節します。

7．ベースプレートの取付け
ベースプレートを取付ビスで本体に取り付けます。
※タイル壁の場合は、目地とベースプレートとのすき間がなくなるように目地の凹部を埋めてください。



8．表示板の取付け
表示板を押えリングで固定します。



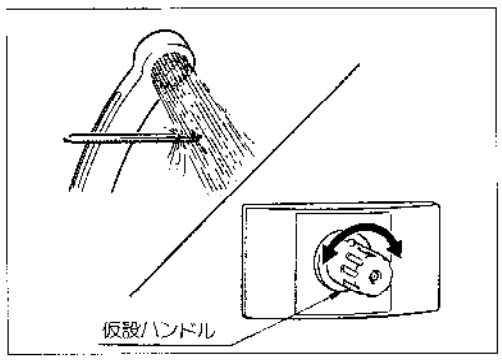
株式会社INAX

本社 ☎0569-35-2700
横浜支社 ☎045-242-1710
甲信支社 ☎0263-36-2166
京滋支社 ☎075-222-1794
札幌支社 ☎011-271-1701
千葉支社 ☎043-227-8171
名古屋支社 ☎052-201-1717
広島支社 ☎082-223-1710
東北支社 ☎022-263-1710
埼玉支社 ☎048-668-1177
静岡支社 ☎054-251-1710
四国支社 ☎0878-21-1701
東京支社 ☎03-5541-7111
東関東支社 ☎0286-37-3378
北陸支社 ☎0762-64-1710
福岡支社 ☎092-471-1710
西東京支社 ☎0425-27-3341
関越支社 ☎0273-27-1793
大阪支社 ☎ 06-539-3500
南九州支社 ☎096-322-1794

9．温度調節と温度調節ハンドルの取付け

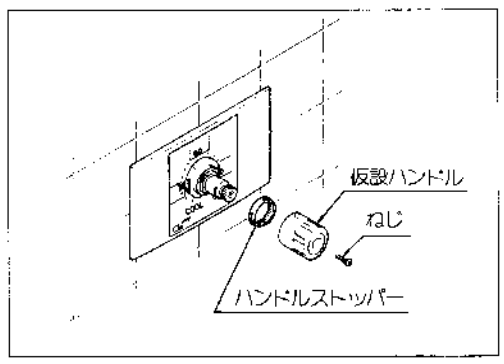
あらかじめ本体に付いているハンドルは、出荷納品時の仮設ハンドルです。次の要領で、温度調節の確認後、正規のハンドルに付け替えます。

(1)吐出温度が温度目盛に関係なく40℃になるよう仮設ハンドルを回します。

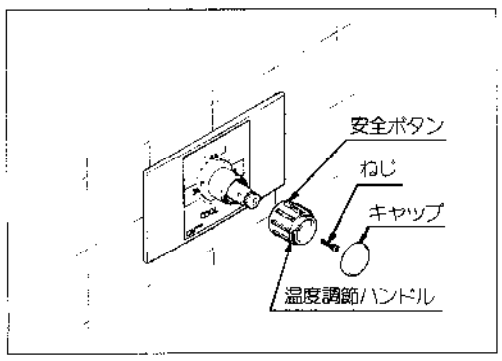


(2)吐出温度が40℃になったところで止水し、仮設ハンドルが回転しないように注意して仮設ハンドルを外します。

※仮設ハンドルの中にあるハンドルストッパーが落ちないように注意してください。



(3)安全ボタンが表示板の「40」に合うように正規の温度調節ハンドルをはめ込み、ねじを締めキャップをねじ込みます。



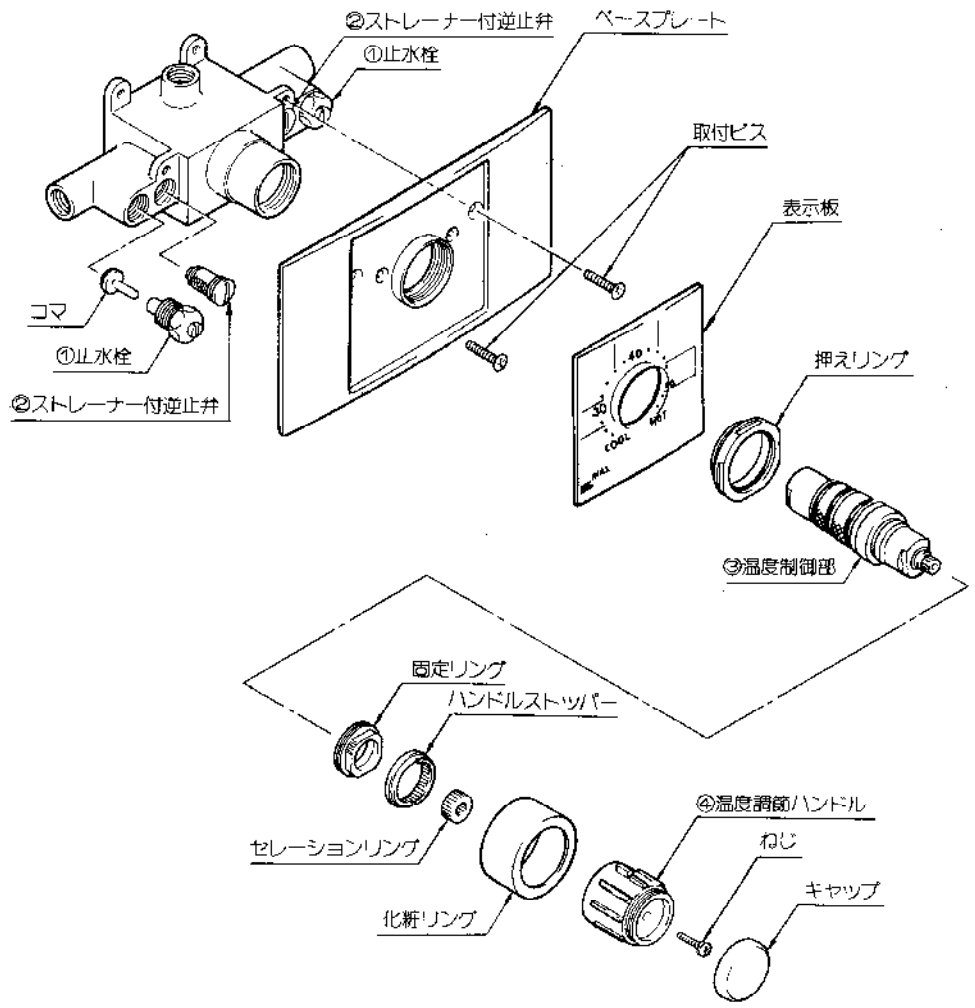
●引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

●故障と点検

※点検箇所は下図を参照してください。

現　象	点検内容	点検箇所	処　置
流量が少ない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	配管途中に大きな抵抗はないか？		抵抗となる障害物を取り除く。
	ストレーナーにゴミ詰まりはないか？	②(湯側と水側)	ゴミ等を水で洗い流す。
	止水栓は十分開いているか？	①(湯側と水側)	止水栓を十分開く。
湯水の逆流がある	逆止弁は正常か？	②(湯側と水側)	ゴミ等を水で洗い流す。 キズがあれば部品を交換する。
希望の温度が得られない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	ストレーナーにゴミ詰まりはないか？	②(湯側と水側)	ゴミ等を水で洗い流す。
	温度調節はよいか？	④	「取付方法」の「9.温度調節」の項参照。
	流量調節はよいか？	①(湯側と水側)	「取付方法」の「6.流量調節」の項参照。
	混調カートリッジは働いているか？	③	「機能検査」の項参照。



●機能検査

(1)温度調節ハンドル④を「40」に合わせる。

(2)止水栓①の水側のみを閉める。

※この時吐出がほとんど停止すれば機能は正常です。

※吐出が止まらずそのままであれば温調カートリッジの故障ですから取替えが必要です。

(3)止水栓①の湯側のみを閉める。

※この時吐出がほとんど停止すれば機能は正常です。

※吐出が止まらずそのままであれば温調カートリッジの故障ですから取替えが必要です。